

8月24日(月)ボランティア活動準備と周辺地域見学



明日からのボランティア活動計画と準備をしました。



カレン族の村を訪問。カレン族は象に木材を運ばせるなど昔は象と共に生活をしていました。



今晚からアカ族のアーパー村でホームステイをします。泊めていただく家の方に挨拶。

8月25日(火)アカ族の方たちとの交流とボランティア活動



昨晩はアカ族の村の方たちと懇談会の場を持ちました。LABO4のテーマである「途上国女性の社会進出課題」に沿って、日本から準備していった質問に対して色々なお話をうかがうことができました。もっと時間がほしいと感じました。本来、アカ族は他の山岳少数民族の部族と同様に山の頂上に住んでいましたが、タイ政府によって低地に移住させられました。この村も約100年前に現在の土地に移住してきました。



多くの山岳少数民族がタイ人や他の部族と文化的にも融合し、独自性が失われつつある中で、アーパー村は伝統を守っている村として知られています。

村の家屋は高床式に作られています。朝は、鶏の鳴き声とともに始まります。実際にぎやかで寝ていただけません！夜は蚊帳を吊って寝ましたが、これも初めての経験です。お風呂はなく水シャワーで、日本では想像できないような環境です。アカ族の言葉もほとんど分かりませんが、生徒はたくましく順応しています。

午前幼稚園、午後は小学校を訪問し書道や日本語の授業で日本語を教えるなどの交流をしました。夜はアカ族の民族衣装を着せていただき、火を囲んで踊りました。

<生徒の感想から>言葉は通じなくともジェスチャーをまじえて必死で伝えようとする、意思は通じるものだということが分かりました。本当のコミュニケーション力とは、伝えられない言葉の壁を自分の持っている力を全て出して全力で伝えようとする姿勢のことだと思いました。

